

Gifu Motosu Special Needs School

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

PTAだより

2025年12月発行 第4号



<今月の内容>

1. ゆめフェスタ2025報告
2. 駕籠の贈呈式報告
3. 岐阜アソシアから寄付のお願い
4. 次回のPTAイベント

Parent- Teacher Association





2025.11.21-22 ゆめフェスタ2025



11月とは言え、まだまだ暖かさを感じる中、ゆめフェスタが行われました。気持ちの良い秋晴れの下、生徒、保護者、そして多くの来場者で賑やかで和やかなイベントとなりました。
みなさんにとってのゆめフェスタ2025は、いかがでしたか？



■ ミナモによるダンス

みんな大好き！人気者のミナモが登場。会場のみんなと、歌ったり踊ったりして楽しい時間を過ごしました。賑やかで、明るく楽しい、アットホームな雰囲気は、ゆめフェスタにぴったり！スタート直後で、まだ温まりきっていない会場を、ホットに盛り上げてくれました。



■ 田口京子さんによる腹話術＆紙芝居

私たちと同じく、障がいを抱えるお子さんを持つ、先輩ママさんでもある田口京子さん。そんな田口さんに、腹話術人形を使った絵本や、歌のパフォーマンスをしていただきました。

多くの方が参加し、手拍子や合唱など、田口さんと一緒にになって会場は盛り上りました。

■ 昔にタイムスリップ？ 駕籠(かご)乗り体験！

今回初の試みとして、江戸時代に広く使われていた乗り物＝駕籠に乗る貴重な体験を企画しました。

明治以降、人力車の登場で交通手段としての役目を終えた駕籠。もちろん子どもたちのほとんどが初体験。初めて触れる駕籠に、最初は戸惑ったり、遠慮していたお子さんも乗ってみると快適なようで、中には二度、三度と乗りに来る子もいて、予想を超えた盛況でした。

みんな笑顔で楽しそうな姿を見て、担ぎ手の保護者さん、先生方も嬉しい気持ちをいただきました。好評だったので、また来年もやれたらいいな…。駕籠を寄贈いただいた山田さん、ありがとうございました。



■ 聖徳学園大学リクリエーション研究会「あそびのへや」

岐阜聖徳学園大学の学生さんが、子どもたちの遊びの広場「あそびのへや」を企画してくれました。

自由に絵を描いたり、シールやマスキングテープを貼ったり、手作りのボールをかごに向かって投げて、お菓子がゲットできるコーナーなど盛りだくさん。 参加した子どもたちは、学生さんと一緒に絵を描いたり、ボール入れを楽しんだりして楽しんでいました。



■「かきりん」と「もとまる」と握手をしよう！

みんな大好き！人気者のかきりんともとまるが、今年も遊びに来てくれました。

子どもたちに囲まれて、握手をしたり、一緒に写真を撮ったり、今回も大忙しのふたり。

集まつた子どもたちにクッキーのプレゼントもしてくれました。

イベント後は「来年も遊びに来るからね！」と、名残惜しそうに仲良く帰って行きました。

かきりん、もとまる、ありがとう！来年もまた来てね！



■ プラレール展示

昨年のゆめフェスタでも大好評だったプラレール展示。高等部の保護者でもある原田さんにお願いして、今年もプラレール展示にご協力をいただきました。

完成したプラレール展示は、自宅ではまず実現不可能な見事な物で、昨年よりもグレードアップ！圧巻の迫力でした。

昨年も賑わっていた、子どもたちが直接触れられるコーナーで、大迫力のプラレールを目の前に楽しく遊ぶ子どもたちの姿を見て、このイベントは、今や「ゆめフェスタ」には欠かせない風景になっているな…と感じました。

原田さんと娘さん、前々日から設営していただき、本当にありがとうございました。



■ 初企画！運営スタッフの特典「お買い物優先券」

ゆめフェスタの企画、事前準備、当日の運営などに協力してくれるメンバーやボランティアの方々に、なにか恩返しができないかと、今回、お買い物の会計をイベント終了後にできる「お買い物優先券」を配布しました。

バザーは例年、会計待ちで長蛇の列。イベントスタッフは思うように買い物ができないという悩みを少しでも解消できないか？と企画しました。

運用方法など課題はありますが、利用した方からは「会計を後にできるのは助かった」、「去年できなかった買い物ができた！」、「特典ってなんか嬉しい」など好評でした。これからも、PTAが少しでも良くなるようチャレンジしていくので、ぜひみなさんも積極的に参加してくださいね！



今年も笑顔と笑い声の溢れる、素敵な二日間でした。

ご協力いただいた会員の皆様、ボランティアの皆様、先生方、本当にありがとうございました





2025.11.10 山田英夫さんから駕籠(かご)を寄贈いただきました

11月10日(月)に、岐阜市にお住まいの山田英夫さんから駕籠を寄贈いただき、山田さんのご家族も参加して贈呈式を行いました。

制作に当たって、山田さんは江戸時代の実際の駕籠のサイズや仕様などを調べられ、そのデータに基づいた設計をし、竹などの材料の選定・加工、仕上げに至るまで、すべて手作りされました。

寄贈いただいた駕籠は、「ゆめフェスタ」の企画で大活躍。当日は山田さんご家族もおみえになり、子どもたちの喜ぶ姿を見ていただきました。

この駕籠によってたくさんの笑顔が生まれ、多くの子どもにとって貴重な体験となりました。山田さん、本当にありがとうございました。



イベントピックアップ



今年度のPTAのイベントの中から、直近のイベントをいくつかピックアップして詳しくご案内します。

◎ 1/29(木)「保護者進路研修会／障害基礎年金の請求の進め方」

私たちの子どもの未来にも大きく関係する障がい年金。でも、その仕組みや申請方法など、わからないことが多いのでは？ みなさんのようなギモンや不安を解消するために、田中佐菜江さんを講師にお招きして、貴重なお話をさせていただきます。毎年好評ですので、ぜひご参加ください。

「書き損じはがき、未使用の切手・テレホンカード」寄付のお願い

社会福祉法人岐阜アソシア（視覚障害者生活情報センターぎふ）では、事業資金のために、書き損じはがきや切手などの寄付をお願いしています。寄付で集まったものは、新しいはがき・切手などに交換されたり換金されたりして、それが活動資金として目の不自由な方の助けになります。

何枚でも結構ですので、お子さまを通じて学校にお寄せください。私たちのちょっとした気持ちが、目の不自由な方の大きな助けになります。みなさんのご協力をお待ちしています！

※岐阜アソシア…目の不自由な方が生活しやすくなるための支援をする団体です。点字や声で読まれた図書や拡大図書の制作、点字の読み書きの訓練、単独で歩けるように白杖を使った歩行訓練などを行っています。



編集後記

仕事柄からか、成年後見人や家族信託、相続のことなどを聞かれることが多いです。「障がい者特有の性の問題」、「障がい者の就労」、「親亡き後の問題」、「成年後見人制度」、「相続」…と、私たち障がいを持つ子の親は、考えること、勉強すべき事がたくさんあります。

親の知識の有無が、大切な子どもたちの未来に大きな影響を与えることもあるはず。でも、誰に聞けばいいのかわからない…。私もそうでしたが、PTAとして様々なイベントに参加することで、いろいろな方と知り合い、知識を得ることになり、参加して良かったと思う事が多いです。

忙しい日常ですが、私たちが動くことで視野が広がり、子どもたちの未来や可能性が広がるような気がしています。これからも、時間を創っていろいろな場に参加しようと思います。今年も残りわずかですが、みなさんも体に気をつけてお過ごしください。

